



本社屋外観

- 本社所在地：埼玉県本庄市西富田303-1
- 事業概要：総合建設業
- 常時使用する従業員：80名
(2026年4月時点)
- 現在の売上高：65億円
(2025年5月期)
- 法人番号：9030001060305
- Web：https://www.takenami.co.jp

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
竹並 達也

地域の未来を、確かな建設力で支える。

2030年に創業100年を迎える竹並建設の前身は祖父留男が竹並工務店として大工業を立ち上げたことに始まる。そのカリスマと人柄により大工仲間を増やし事業拡大を図ってきた。父栄一郎（2代目）は、苦学の中で人脈を広げ、外部からの複数の有能な技術者を招聘し、愛社精神とそのチームワークと協力業者との絆の強さで幾多の難局を乗り越えてきた。時代は流れ6代目の今もその精神は脈々と息づいており、人を大切に、人との繋がりを事業の中核に据える企業理念を今でも醸成し続けている。引継ぎ時50億円の売上高であったが、2013年社長就任時の目標として創業100周年（2030年）に100億円達成を据えた。しかし経営者としての未熟さ、新規採用数の伸び悩みもあり、途中で目標の修正を余儀なくされ現在の100周年の目標金額は80億に留まる。今、この100億宣言を再チャレンジの好機と捉え、2036年（10年後）に売上100億円の達成を目標に据えて組織・技術・人材のすべてにおいて進化を進める。100億を達成することで誰もが認める地域ナンバーワン企業として不動の地位を確立し、今までもこれからも竹並建設に関わる全ての人の幸せを実現させていく。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年100億円達成に向け今現在の売上高60億から年平均5.5%の成長を実現することで地域に根差した安定した社会貢献企業としての地位を築き上げる。

- ・人材育成・成長実感・能力評価・社内連携・DX推進の強化
- ・営業力の強化・事業工リアの拡大
- ・施工能力・施工品質の向上、協力事業者の拡充
- ・住宅認知度向上・快適住環境の探求により住宅着工数増加
- ・リノベーション事業の拡大
- ・快適な職場環境による雇用の安定・人材採用
- ・地球環境に配慮した企業活動

課題

- ・若手技術者の採用強化と既存社員のスキルアップ教育に継続的取組が必要である
- ・継続した既存顧客管理と情報収集能力の拡充
- ・人員増強が難しい現状の対策として設計・積算・施工管理の各プロセスにおけるデジタル化を推進し、業務効率の抜本的な改善と競争力の強化が必要である
- ・各年代層に適したロードマップの作成
- ・住宅取得者に対して、高機能・高性能・高品質住宅としての認知度の向上
- ・地球環境負荷低減への貢献と時代に即した暮らし方である住宅リノベーションを広く周知していく

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・100億達成に向けて新社屋の建設を行い、社員の労働環境改善を図ることで更なる労働意欲の向上と人材採用に向けた企業アピールを行う。
- ・上記社屋に最新機器導入や連携動線の計画により、業務効率化、組織連携の強化、社内コミュニティーの融和、省エネその他、多岐にわたる効果を期待できる。
- ・建設ディレクター部署を立ち上げ、新システムの導入や分業化を図り業務効率化と生産性の向上につなげる。
- ・外部機関での研修を導入し、それぞれの職位の応じた教育を受講させることで業務意識の向上と技術者としての能力向上への自覚を促す。

実施体制

- ・新社屋建設プロジェクトメンバーを立ち上げ創業100周年に当たる2030年に開業させ、2036年の100億達成に向けた原動力とする。
- ・上記最新設備の導入に関してあらゆる情報を収集し今後100年を見据え、常にアップロード可能な次世代型建設業社屋として確立させる。
- ・管理部門と施工管理部門の協業により有資格者による建設ディレクター専任者を作り、施工管理体制のさらなる効率化を図る。
- ・毎年5名を選し外部研修を受講させ、全社的に同じ方針による教育方法を共有することにより最終的には自浄作用が働く指導・育成方針を定着させる。
- ・専任者によりYouTube・instagramを積極的に活用し常にモニタリングをかけながら数値での効果の確認と改善を行うことで、認知度の向上と竹並の住宅の付加価値を訴え、他社との差別化を図る。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです